



世界の4大機械展の一つ（1）にも表れているが、
として位置付けられて2回 出展者側もそれに沿うよう
目の開催となる今回のIGASに大変な意気
ASが、前回に比べ、さ 込みをもって取り組んでい
らに国際展としての位置づ たことが強く感じられた。
けを確かなものとした。 もちろん、その背景には
これは、見込みを下回る 日本市場の重要性に加え、
海外来場者数（1万3000 発展著しいアジア市場があ

IGAS 2007

● レポート①〈概況〉 ●

ることは言うまでもない
なかには約半年後に繰返
ている。また、2006年に出展
予定であった新技術を、急
遽前倒してIGASに出展
・実演した例もあったほど
で、IGASの国際展とし
ての存在感はますます高ま
ったと言えよう。

この傾向は加工システム
のインライン化を推進して
システムに限らず、同様の

UV印刷、ニスコーティ
ングはもちろん、簡押し、
ホログラム、抜き加工まで、
インライン化により新たな
付加価値・可能性がもたら
されようとしている。

また、これら高付加価値
化のトレンドはインライン
システムに限らず、同様の

管理機能の充実、JOB切
り替え作業の自動化・効率
化によりますますシフト
ラン対応力を強めている。

デジタル印刷機は産業用
インクジェットシステムの
台頭も含め、バリエーショ
ンの豊富さがさらにその可
能性を広げてきた。

デジタル印刷機対応のシス
テムや、環境対応をアピー
ルする提案も今回は目立っ
た。

こうした変化は印刷産業
を前面に出した取り組みを
行う選択肢が増えたことに
すものであり、大型機・小
型機、デジタル印刷機それ
自身が持つ機能を状況に応
じ、最大限活かした形で採
用していくことになろう。
次回以降は各分野別のレ
ポートを紹介する。

目立つ高付加価値提案

成熟化する印刷市場へ対応

いる印刷分野に限らず、プ
リプレスから後加工まで全
ての分野において共通のも
のである。

もちろん、加工システム
に限りならず、広範囲印刷・高
精度印刷など様々な技術に
よっても高付加価値化は進
成されることは言うまでも
ない。

市場の成熟化はオフ輪
さに見象が成立しつつある。
しかし、デジタル印刷機
製本・後加工の分野におい
ても、当然のことながら印
刷物の高付加価値化が大き
なる小型機も、先に述べた
デジタル印刷機対応のシス

つまり、同じコンテンツ
の印刷物でもロットの多い
初版ではオフセット、小ロ
ットの追加印刷ではデジタ
ルなど、状況に応じた機械に
印刷機を選択することが可
能になってきた。

効率化・小ロット化への
対応を強力に推進している
製本・後加工の分野におい
ても、当然のことながら印
刷物の高付加価値化が大き
なる小型機も、先に述べた
デジタル印刷機対応のシス

つまり、同じコンテンツ
の印刷物でもロットの多い
初版ではオフセット、小ロ
ットの追加印刷ではデジタ
ルなど、状況に応じた機械に
印刷機を選択することが可
能になってきた。

効率化・小ロット化への
対応を強力に推進している
製本・後加工の分野におい
ても、当然のことながら印
刷物の高付加価値化が大き
なる小型機も、先に述べた
デジタル印刷機対応のシス

UV印刷、ニスコーティ
ングはもちろん、簡押し、
ホログラム、抜き加工まで、
インライン化により新たな
付加価値・可能性がもたら
されようとしている。

また、これら高付加価値
化のトレンドはインライン
システムに限らず、同様の

管理機能の充実、JOB切
り替え作業の自動化・効率
化によりますますシフト
ラン対応力を強めている。

デジタル印刷機は産業用
インクジェットシステムの
台頭も含め、バリエーショ
ンの豊富さがさらにその可
能性を広げてきた。

デジタル印刷機対応のシス
テムや、環境対応をアピー
ルする提案も今回は目立っ
た。

こうした変化は印刷産業
を前面に出した取り組みを
行う選択肢が増えたことに
すものであり、大型機・小
型機、デジタル印刷機それ
自身が持つ機能を状況に応
じ、最大限活かした形で採
用していくことになろう。
次回以降は各分野別のレ
ポートを紹介する。

効率化・小ロット化への
対応を強力に推進している
製本・後加工の分野におい
ても、当然のことながら印
刷物の高付加価値化が大き
なる小型機も、先に述べた
デジタル印刷機対応のシス